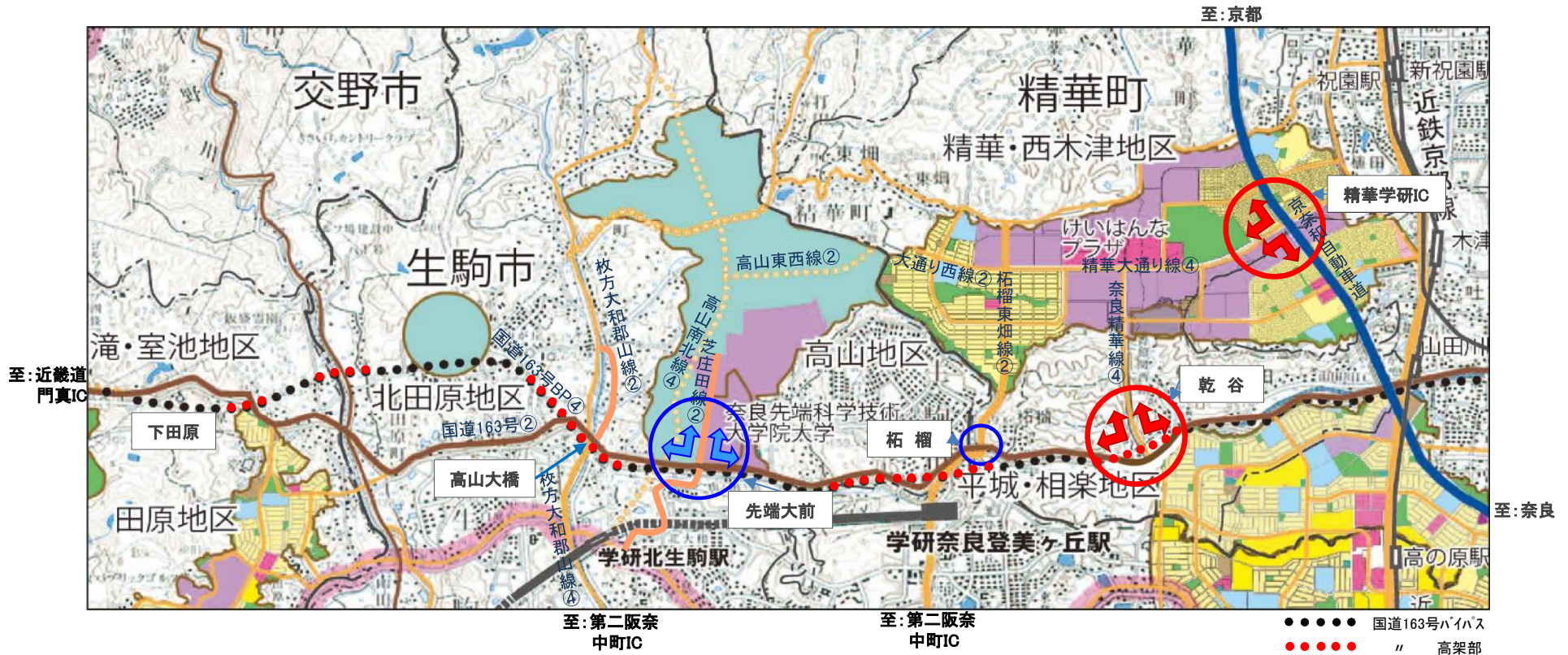


交通ネットワーク形成のあり方について

交通ネットワーク形成のあり方(1/5)

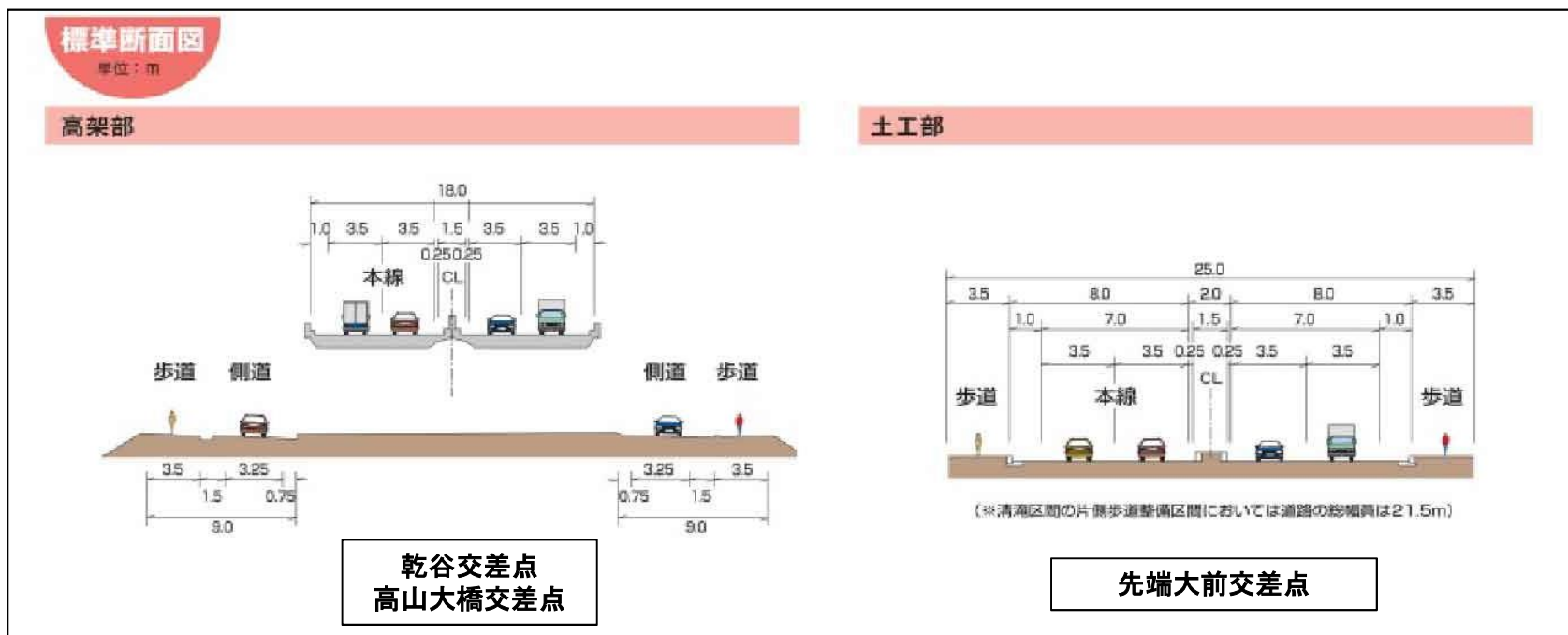
学研都市を中心とした大阪・京都への広域交通
 「学研連絡道路（国道163号バイパス）～学研都市～京奈和自動車道」



地域名	大阪	生駒市	精華町			京都
			乾谷交差点	けいはんなプラザ	精華学研 IC	
広域主要動線	国道 163 号 BP		奈良精華線	精華大通り線	京奈和自動車道	
大阪⇄学研都市⇄京都	4車線		4車線	4車線	4車線	

交通ネットワーク形成のあり方(2/5)

「学研都市連絡道路（国道163号バイパス）の概要」



事業概要

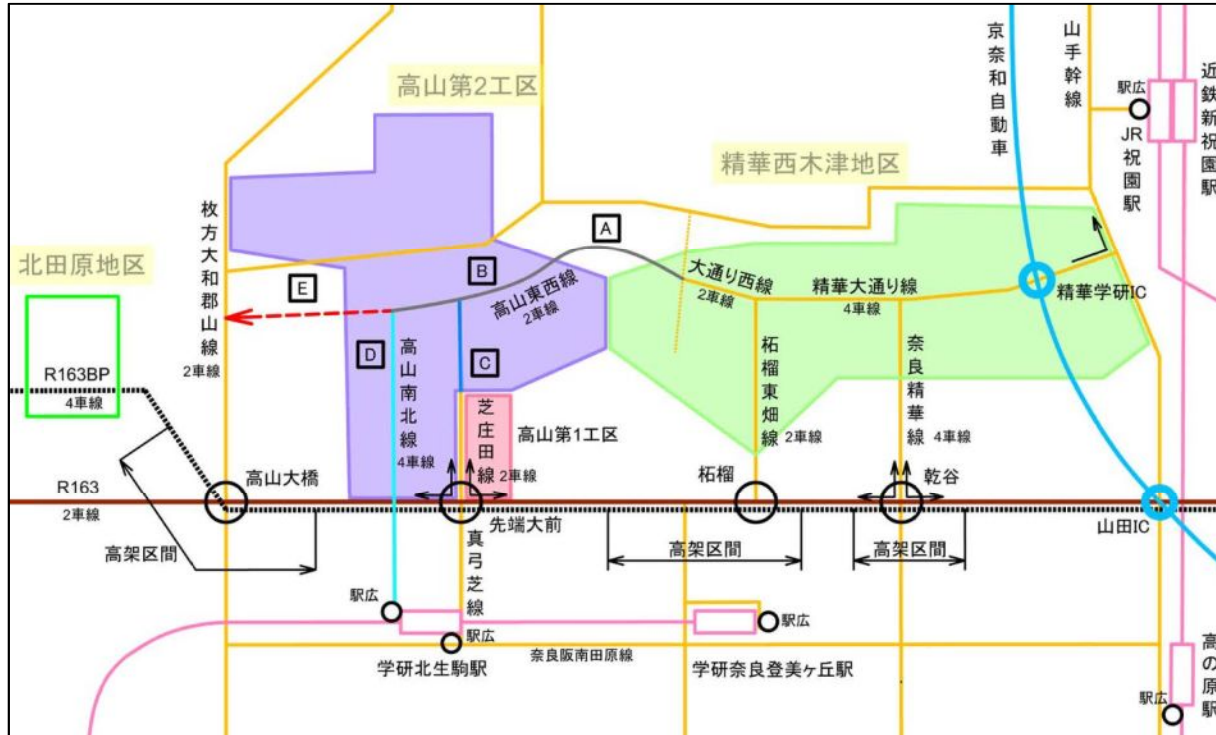
一般国道163号は、大阪府大阪市を起点とし、三重県津市に至る延長約120kmの主要幹線道路。その内、大阪府門真市から京都府木津川市間(延長約20km)は、地域高規格道路である「学研都市連絡道路」として、交通混雑の緩和、異常気象時通行規制区間・線形不良区間の解消、沿道環境の改善、交通安全の確保、関西文化学術研究都市へのアクセス性の向上や沿線地域の活性化を支援する目的で計画された道路である。

現在の進捗状況

- 大阪側の四條畷市～下田原西ランプについては平成18年3月に4車線で供用、平成25年11月には下田原西ランプ～下田原まで2車線が供用している。
- 生駒市域の高山大橋交差点については本線の高架部を除く側道について、平成28年3月に完成し供用している。
- 京都府域の精華町～木津川市内の区間については、平成28年度から道路工事に着手している。

交通ネットワーク形成のあり方(3/5)

「域内交通と周辺道路及びクラスター間の交通ネットワークについて」
 (高山地区～精華西木津地区) 高山地区～R163BP



※地区内区画道路については、今後の土地利用計画に併せ、沿道利用ができるような配置検討を行う。

想定ルート	クラスター間連絡ルート		高山地区入出ルート		
	A: 東側地区外 精華西木津間	B: 地区内	C: 現道の芝庄田線(先端大前)を 活用した2工区延伸ルート	D: 現都市計画ルート (R163横断部は橋梁)	E: 枚方大和郡山線(県道) までの延伸ルート
車線数	2車線	2車線	2車線	4車線	2車線
区域内道路の役割	・クラスター間の連携		・第1工区と第2工区との一体化 ・先端大などからの沿道利用 ・R163BPから地区内への入出	・R163BPに結節していない高山地区と学研北生駒駅を結ぶ公共交通ルート。 (第1工区、先端大からの沿道利用は困難)	・先端大前交差点の交通処理(主に大阪方面への右折、高規格道路の円滑走行)を 勘案したR163BPから地区内への入出補完ルート

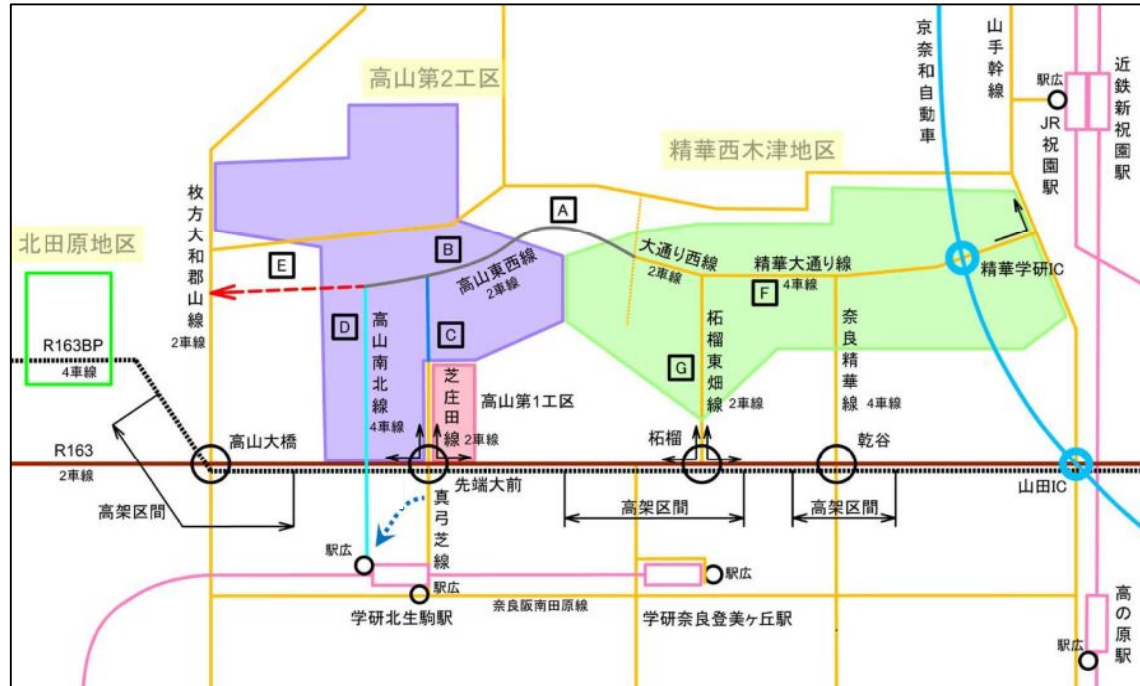
交通ネットワーク形成のあり方(4/5)

○公共交通（バスルート）

（主要駅の役割（高山地区～学研北生駒駅、精華西木津地区～学研奈良登美ヶ丘駅）

【駅の役割】

- JR祝園・近鉄新祝園駅
 - ・学研中心地区(精華・西木津地区)への京都側の玄関口
- 学研奈良登美ヶ丘駅
 - ・学研中心地区(精華・西木津地区)への大阪側の玄関口
- 学研北生駒駅
 - ・学研都市区域(主に高山地区)への玄関口



想定ルート	D: 高山南北線～学研北生駒駅西口	C: 芝庄田線～真弓芝線～奈良阪南田原線～学研北生駒駅	E: 高山東西線延伸～枚方大和郡山線～学研北生駒駅
車線数	4車線	2車線	2車線+4車線
道路の役割と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高山地区と学研北生駒駅を最短距離で結ぶルート。(第1工区、先端大からの沿道利用は困難) ・土地利用計画や沿道利用、費用対効果等の課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現道利用ルート ・区内沿道からの利用が可能 ・既存の真弓芝線や奈良阪南田原線は、交通混雑が頻繁に発生しており、交通容量や住宅地内通過に対する課題がある。 ⇒代替ルートの検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通混雑回避ルート ・交通混雑を回避した定時運行可能なルートとなるが、第1工区からの利用は困難となり、学研北生駒駅までの距離も長い。

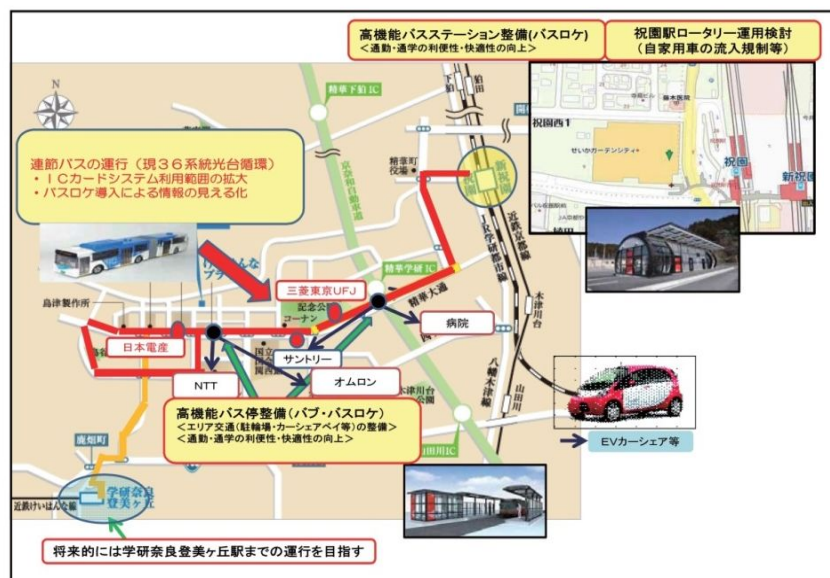
交通ネットワーク形成のあり方(5/5)

「連節バスの動向について（参考）」

○ICTを活用した地域環境にやさしい新公共交通システムの構築

けいはんな学研都市において、最大の課題である交通問題解決のため、公共交通機関である次世代型の連節バスと電気自動車等のシェアシステムを導入し、高機能化された交通のハブ拠点を整備するなど、交通ネットワークを最適化させ、環境負荷が少ない低炭素の街づくりを推進していく予定（京都府HPより）

新公共交通システムの導入(案)



バス停拡幅工事中(H29.1)

※出典：京都府HP
＜環境省の概算要求（H28.11）＞

○京都府建設交通部 平成28年度運営目標

けいはんな学研都市における連節バスを核とした交通システムの導入（29年度）に向けた調整を行います。

○京都府商工労働観光部 平成28年度運営目標

連節バスの平成29年度実走に向けた道路等の基盤整備を行います。

※出典：京都府HP